

14:13 イエスはこのことを聞かれると、舟でそこを去り、自分だけで寂しい所に行かれた。すると、群衆がそれと聞いて、町々から、歩いてイエスのあとを追った。

14:14 イエスは舟から上がられると、多くの群衆を見られ、彼らを深くあわれんで、彼らの病気を直された。

14:15 夕方になったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここは寂しい所ですし、時刻ももう回っています。ですから群衆を解散させてください。そして村に行つてめいめいで食物を買うようにさせてください。」

14:16 しかし、イエスは言われた。「彼らが出かけて行く必要はありません。あなたがたで、の人たちに何か食べる物を上げなさい。」

14:17 しかし、弟子たちはイエスに言った。「ここには、パンが五つと魚が二匹よりほかありません。」

14:18 すると、イエスは言われた。「それを、ここに持つて来なさい。」

14:19 そしてイエスは、群衆に命じて草の上にすわらせ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて、それらを祝福し、パンを裂いてそれを弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。

14:20 人々はみな、食べて満腹した。そして、パン切れの余りを取り集めると、十二のかごにいっぱいあった。

14:21 食べた者は、女と子どもを除いて、男五千人ほどであった。

モーセの時代には、天からマナが与えられて、

人々は生きることができました。今はイエス様が生きる糧を与えてくださるということです。それは「余りを集め」ても十二のかごを満たすほどでした。その意味は、全人類の救い（永遠のいのち）が成就した後の余りでさえ、イスラエルの十二の部族を満たすことができるということです。

そしてそのイエス様の救いは、肉の糧ではなく永遠のいのちであり、ご自身がいのちのパンとなられたのです。私たちはこのイエス様を信じて、内に受け入れ（食して）、永遠のいのちをいただきました。

このような救いは、弟子たちがその奉仕によって配ったように、私たち救われた者に託されています。そしてその信仰は、五つのパンと二匹の魚を差し出したような、与える信仰によって始まるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

